

師走



# 図書館だより

\*木枯らしが吹き寒くなりましたね。一年の最後の月になりました。

教室にばかりいないで、図書室を覗いてみませんか？

もうすぐやってくる冬休みに読む本を、探しに来てください。



## 館内展示

人権週間 12月4日～12月10日

★図書委員のおすすめ本展示しています

## 図書館よりお知らせ

### 冬休み貸出について

最終貸出 12月19日(金)

一人 5冊まで

返却日 1月13日(火) 【新刊本はいりました！】

(返却していない本があると貸出できません)



「人権」とは「人が人として社会の中で、自由に考え、自由に行動し、



幸福に暮らせる権利」『みんなちがってみんないい by 金子みすゞ』

### 「人類のものがたり」

世界はちがう人どうしてできている

ユヴァル・ノア・ハラリ著・河出書房新社・290・ハ

人類の祖先が考え出した、国も言語も宗教も違う人たちとの力を合わせるための方法とは？

### 「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」

ブレイディみかこ/著・新潮社・376・ブ

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちやまぜの「元・底辺中学校」世界の縮図のような日常生活を思春期の「ぼく」と母がどのように乗り越えたか…傑作エッセイ



### 「居場所がほしい」

不登校だったぼくの今

浅見 直輝/著 岩波書店・371・ア

ネガティブに語られがちな不登校、それは人生のチャンスだ。中学時代に2年近く不登校・引きこもりを経験した著者が不登校のはじまりから、一念発起して進学した高校・大学時代、現在までの経験を語る。

### 「ワンダー」

R.J.パラシオ著・ほるぷ出版・933・パ

生まれつき顔に障害のあるオーガストは、10歳で学校に通うことになったが、生徒たちは彼の顔を見て悲鳴をあげ、じろじろながめ、やがて避けるようになる。一方で、オーガストの話を面白がる同級生は少しづつ増えていき…。

